

令和3年度事業計画書

自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月31日

I 公益目的事業

1 研究事業

事業名	事業の内容
南九州周辺海域における台風避泊等船舶航行安全対策に関する調査研究	<p>近年、強い勢力を維持したまま九州、四国、近畿等に接近或いは上陸する台風や日本近海で急速に発達する台風が増加傾向にあり、各地で船舶の走錨等に起因した事故が多発したことを受け、当協会では令和元年度に「北九州空港周辺海域及び長崎空港周辺海域における荒天時の走錨に起因する事故防止に関する調査研究」及び「沖縄付近海域における台風避泊等船舶航行安全対策調査研究」により安全対策を提言したところであるが、台風常襲地域である南九州沿岸においては、平成16年に10個の台風が上陸し全国的に大きな海難、災害をもたらせたことから平成17年に「台風避泊ガイド」を作成し、平成20年に改訂を行い海事関係者に対し、安全情報の提供を実施してきたところである。</p> <p>しかしながら、近年の台風の状況から、早期避難にかかる考え方等、台風来襲時の避泊等の安全性について改めて整理する必要がある。</p> <p>また、志布志湾と喜入港周辺海域の走錨等に起因する海難防止対策についてもフォローアップとしての検証を行い、南九州沿岸域における台風時の避泊等の安全性に関する調査研究を行い、それら結果を台風避泊ガイドの改訂版に反映し、関係者へ周知等を行い近年における台風に伴う海難の減少を図ることを目的とする。</p>

2 調査事業

事業名	事業の内容
1. 港湾計画改訂に伴う船舶航行安全対策調査研究	港湾計画の改訂に伴う船舶交通についての諸問題に係る航行安全対策について調査研究する。
2. 港湾工事に伴う船舶航行安全対策調査研究	港湾工事に伴う海上交通流の変化等新たに生じる海上交通の諸問題に係る航行安全対策について調査研究する。
3. 船舶大型化に伴う船舶航行安全対策調査研究	船舶大型化に伴う入出港及び着離岸等航行安全対策について調査研究する。

3 情報提供事業

事業名	事業の内容
1. 航行安全支援業務	海上工事に関し、工事付近航行船舶の安全確保及び工事の安全と円滑な遂行のため、工事に関する情報、通航船舶の情報、気象、海象等に関する情報を迅速に収集し、これらの情報を通航船舶及び工事関係者等に速やかに情報提供する。 更に、ホームページを活用し広く一般に安全情報を広報周知する等航行安全支援業務を実施する。
2. 海難防止強調運動の実施	全国海難防止強調運動における運動方針を受け西日本、南九州、沖縄地区の推進連絡会議を開催し、推進方法を企画、策定し、実施する。
3. 海難防止啓蒙活動	海難防止啓蒙ポスター及び海難防止関連グッズを作成して啓蒙活動を支援する。
4. 講習会	① 西海防セミナー 年2回（北九州市、福岡市）、海難防止に関する講演を実施し、海難防止に関する啓発を行う。 ② 安全講習会 海上工事作業従事者に対し、海域の特性等を勘案した講習会を実施する。
5. 広報活動	① 会報の刊行 会務、調査研究の成果等を取りまとめ「公益社団法人西部海難防止協会会報」として会員及び関係者に年4回配布する。 ② ホームページの活用 海事関係者はもとより広く社会一般に広報し、海難防止思想を啓発して、海難防止に資する。 ③ 海事広報展示館での周知宣伝 平成2年6月に新たな施設へ移転した海事広報展示館（らいぶ館）の展示物を充実させ、海事思想の普及を図り、海難防止活動を実施する。

II 収益目的事業

調査事業

事業名	事業の内容
1. 特定船舶の入港に係る解析調査	船舶の入港に関し委員会報告書に基づく入港基準と航跡を解析調査する。
2. 特定洋上風力に係る船舶航行安全対策調査研究	洋上風力設置に伴う適地エリア、工事中等の船舶航行安全対策を調査研究する。